



先人の愛がこもった公園を散策！

8月2日（水）、中標津町計根別にある「正美公園」において、第1回「雷別ドングリ倶楽部」自然観察を実施しました。

この会は、高齢級のトドマツ人工林が気象害によって立ち枯れし、笹地が広がっている雷別国有林をフィールドとして、平成19年から当センターと協働で森林再生に取り組みられている森林ボランティアの方々の集まりです。

会で植樹と併せ森林の名所を巡る活動計画があり、当日は、会員14名が参加し、夏空でかなりの暑さでしたが、センター職員の若干の解説を交え散策しました。

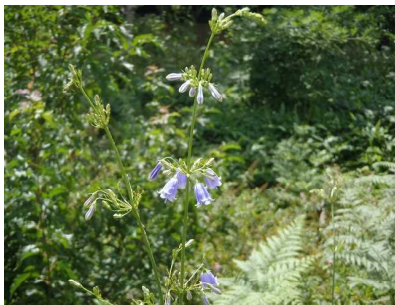
「正美公園」は、中標津市街から約1.6kmの位置にあり、計根別地区



▽正美公園成り立ちの説明の様子



▽樹木見本園内散策の様子



▽遊歩道沿いのツリガネニンジン

の市街地に接し、近くには中標津農業高校もあります。公園内は、広葉樹を主体とした樹種の豊富な場所です。

この地は、酪農振興の指導者として地域の発展に大きく貢献された故成田正美氏が「北方樹木園」の夢を描き、その生涯を掛けて、ひとり自力で広葉樹を主体とした数十種類の樹木を植え込み、造成に取り組みれていたものを、昭和58年に地域へ寄贈された場所です。

町と住民は、氏の意思を引き継ぎ、故人の名に因んで「正美公園」と命名し、町民の憩いの場として、美しく美しい人づくりを自然とのふれあいの中から生み出すことを目指して整備された公園で、素晴らしいパークゴルフ場もあります。

公園内の樹木見本園を散策しながら、事前に用意した資料を基に主要なミズナラ・ハルニレ・キハダ・クルミ等の樹木解説をしました。また、遊歩道沿いには、ノリウツギ（別名サビタ、クリーム色の花）などの灌木類、ホザキシモツケやツリガネニンジンなどの草本類も花を咲かせていました。

会員からは、「こんないい公園があるなんて知らなかった。プライベートでも来てみたい。」「なんか落ち着ける場所。来て良かった。」などめいめいが公園内をリラックスして楽しまれているようでした。こんな声にさぞ故人も喜んでくれているでしょう。故人の町への愛が詰まった公園を十分堪能し、帰路につきました。

森林の役割を楽しく学習！

8月31日（木）、中茶安別小中学校で、夏の学校林活動が開催されました。

今回の活動は、中茶安別小中学校の愛称「るるんフォレスト」の近隣で、ヒグマが確認されたことに伴い、学校内での実施となりました。まず始めに、北海道森林管理局が



▽水質浄化装置の実演の様子



▽「北の森カルタ」実施の様子

作成した、楽しく森林のことが学べる「北の森カルタ」を小学校低学年と高学年・中学生の2班に分かれ行いました。（児童生徒27名）
 思っていた以上に白熱したものであり、かなり会場は盛り上がりました。札の読み上げは、職場体験の研修生2名（北海道教育大岩見沢校生と岩手大学大学院生）にしていたいただきました。児童生徒からは、「面白かった。楽しい。」「またしてみたい。」などの感想がありました。研修生も「貴重な経験をさせてもらって良かった。」と言っていました。

その後は、カルタの用語の解説を実施しました。児童も楽しみながら学習してもらえたのではないかと

と思います。

次に、森林の持つ役割や機能を話したあと、森林が水をきれいにする仕組みについて、森林の土壌をペットボトルを用いて再現した簡易な濾過装置を用いて、児童代表の方々に手助けをしてもらいながら実験を行いました。森林の水質浄化機能を体験するため短時間では量が少ないですが、若干の水がきれいになるのを確認していただきました。

児童の中には、「ろ過装置を）自分で作って水をきれいにしてみたい。」「水を大切に使います。」などの言葉が出て改めて森林の果たす役割を理解してくれていました。

子どもたちの笑顔がいっぱい！

9月2・3日（土・日）の2日間、白糠町のハミングロードで、第31回「カミングパラダイス」が開催されました。

このイベントは、駅前南通り商店街の通りを開放して行われるもので、地元住民による露天やフリーマーケット等の懐かしい遊びのコーナー、さらに、郷土芸能「駒踊り」の披露等、多様な催しがありました。

当センタ

ーは、白糠町緑化推進委員会の木育の取り組みと連携し、3日（日）にマツボツクリや木の輪切り等を用いた木工クラフトづくりを行いました。

子どもたちの思い思作ってもらったところ、端材を沢山使った大きな作品や木の輪切りにかわいらしい顔を描いた作品等、子どもたちの笑顔がいっぱいになる個性的な作品が沢山ありました。
 当日は、この時期としては日差しが強く真夏を感じさせる天気でしたが、親子で木工クラフトに取り組む姿や友だちと一緒に作る様子が見られる等、大盛況となり、皆さんの笑顔が印象に残る一日となりました。



▽子どもたちの完成した力作



▽木工クラフトづくりの様子



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533

【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。